

第4回定例研究会

わが国戦前期の上流層の住宅の間取り

第4回定例研究会は、神奈川大学工学部建築学科教授の内田青蔵先生をお招きして、「わが国戦前期の上流層の住宅の間取り」というテーマで講演いただきました。

【講師プロフィール】

1953年 秋田県生まれ。

1975年 神奈川大学工学部建築学科卒業。

1983年 東京工業大学大学院理工学研究科建築学専攻博士課程退学。

文化女子大学造形学部教授、埼玉大学教育学部教授を経て、

2009年より現職。工学博士。専門は近代建築史と近代住宅史。

日本建築学会（論文）奨励賞（1994年）、

日本生活学会今和次郎賞（2004年）受賞。

著作に『学び舎 拝見』（2007 河出書房新社）、

『間取りで楽しむ住宅読本』（2005 光文社）、

『同潤会に学べー住まいの思想とそのデザイン』（2004 王国社）、

『お屋敷拝見』（2003 河出書房新社）、

『消えたモダン東京』（2002 河出書房新社）、

『日本の近代住宅』（1992 鹿島出版会）、

共著に『現代住宅研究の変遷と展望』（2009 丸善株式会社）、

『新版 図説・近代日本住宅史』（2008 鹿島出版会）、

『日本の技術革新』（2003 放送大学教育振興会） など多数。

講師

内田 青蔵 氏（神奈川大学工学部 建築学科教授）

テーマ

わが国戦前期の上流層の住宅の間取り

講演日

2011年12月3日（日） 14:00～17:00 受付開始 13:30～

場所

武庫川女子大学 甲子園会館 K205

